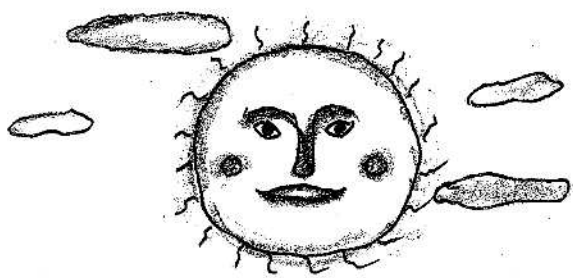


絵本塾 2017年 4月

おはなしのへやだより

神さま、まもってください

「信じない！」ではなく
「信じるよ！」と言えますように。
がっかりしている おともだちを
はげますことができますように。
くらくらしている おともだちを
明るくして あげられますように。
かなしんでいる おともだちを
げんきにして あげられますように。



☆ 神さま、なぐさめて もらうだけでなく、
なぐさめて あげることができますように。
☆ はなしをきいて もらうだけでなく、
はなしをきいて あげることができますように。
☆ 大すきになって もらうだけでなく、
大すきになることが できますように。
☆ こんなふうに おともだちに してあげると、
自分にも してもらえて、
☆ おともだちを ゆるして あげると、
自分も ゆるして もらえて、
☆ 自分を さしだすと
☆ 神さまから いのちを いただけるのですね。

アッソジのフランシスコのものとしされる折り
(小さな おいのりのたび いのちのことば社)

2017年 5月のご案内

日時 5月12日(金) 午前10:30~12:00 昼食
場所 日本キリスト改革派 浜松教会 (お問い合わせ: 望月鈴子へ
(432-8022) 中区山手町45-3 ☎: 053-453-1694
会費 500円 (一人でも親子何人でも) 講座、昼食、お便り
<Part I> 一緒に遊ぼう <Part II> 絵本から考える
手遊び、リズム遊び、絵本: とんことり
絵本 筒井頼子 さく 林 明子 え
パネル・シアター 福音館書店
他 テーマ: “心のとびら” のたたき方



心に語りかける絵本

“みちくさ”を楽しむ



絵本: ふうた みちくさ
村上康成
復刊ドットコム

幼稚園生から新社会人まで、緊張感と初々しい喜び
が見て取れるフレッシュマンたちに出会う季節です。
彼らに出会うと、心ひそかに“がんばれよ!”とエール
を贈るのはわたしひとりではないと思っていますが・・・。

子育ては、喜びも楽しみもありますが、躓けること、教えること等労苦することもたくさんあり、ある意味緊張の連続です。家庭という最も小さな社会から、幼稚園や保育園などの集団生活の中に初めて子どもを送り出すお父さん・お母さんは、あれやこれや心にかかることがあって、子ども本人以上に緊張や不安があるかもしれませんね。子育ては決して楽ちんではありませんが、上手に手を抜き、上手に気分転換が出来る方法を持っているとしんどさも軽くなるのではないのでしょうか。

今回ご紹介するのは、村上康成さん作「くろねこ ふうた」シリーズ(4作)の3作目の「ふうた みちくさ」です。主人公はメガネをかけたくろねこふうたくん。ふうたくんは自転車が好き。自転車に乗ってお買い物に出かけたふうたくんは途中で出会ったこいぬくんとどっかの野原で、おはなの観察、寝っ転がって雲を見上げ、くさとつちのにおいの中でうとうとと・・・こいぬくんはどっかにいっちゃった。「・・・ま、いいか」と「じてんしゃ ころころ おかいもの」の続きです。ところが今度はことりちゃんの家が気になって「やあ ことりちゃん、なにしてるの?」と声をかけます。ふうたくんは気ままに「みちくさ」です。いったい、ふうたくんのお買い物は何でしょう。お買い物はちゃんと終わるのかな?

ふうたくんのお買物の道中は、きっと「みちくさ」だらけに違いない。このお話の中に流れるふうたくんの、のんびり・ゆったり感はずっと心地よい。「あれしなくちゃ、これしなくちゃ」で頭の中がうまり、あくせくと時間に追いまわられているのがなんだかばかばかしく思えるような開放感が広がってきます。

幼い子どもには、まだ明確な時間の観念はありませんから興味あることに会ったり、好きなことを見つけると心ゆくまで楽しみ、自分の世界を広げて満足感を味わおうとします。しかし、親は子育ての時代、誰でも毎日分刻みで過ごしています。「みちくさ」を楽しむ心のゆとりはなかなか持てないかもしれません。でも、ちょっと立ち止まることで見えてくるものがあったり、気づくことがあるのです。子どもの心の環境は、長い時間を一緒に過ごすお母さんの心の環境により近いと言えます。子どもの“心のゆりかご”はお母さんの心なのとも言えます。子どもと一緒に「みちくさ・よりみち」を楽しんでみませんか。何かに追っかけられている心を開放してあげると子育ては楽しくなるはずですよ。

お母さんは毎日忙しそうだけど、「楽しげで幸せそう」と子どもが感じられたら、子どもも「楽しく幸せ」なのです。「みちくさ・よりみち」を子どもと一緒に楽しんでいるお母さんの姿、子どもは嬉しいと思いますよ。

望月鈴子

